

宮城県中体連バスケットボール専門部 県中総体実施上のCOVID-19感染拡大予防対策 (生徒・保護者用)

宮城県中体連バスケットボール専門部

0 はじめに

これから大会を運営するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止を主とした「新しい大会様式」を定着させ、新たな習慣づくりが必要です。今大会は宮城県の基準となる大会です。これから確認する内容は、参加者が主体的に対策する習慣づくりが大事となります。大会のみ対策するのではなく、これから確認することを日頃から習慣づけておけば、なんら困難な対策ではありません。主体的に対策する習慣作りを各学校で実践してください。

《 参加者が主体的に対策する習慣づくり 》

- ① 自分たちで用意できる物品は自分たちで準備する習慣
→ 手指消毒液や物品消毒液、マスクや体温計などの対策用品を、個人（各家庭）で準備する習慣、チームで準備する習慣を。
- ② 自分たちで消毒する習慣
→ 自分が、チームの仲間が使用した物の消毒は自分たちで行う習慣を。
- ③ 自分から3密を避ける習慣
→ 試合のない時間は極力屋外や広いスペースで過ごす、席を空けて観客席を使用する、換気が十分でない場所には長居しない習慣を。
- ④ 観客を制限した大会への送迎等がスムーズに行える習慣
→ 保護者との連絡をきちんとできる習慣を。
- ⑤ 試合終了後、スムーズに帰宅する習慣
→ 予定されていた試合が終了（敗退）したら、長時間会場に残らない習慣を。

1 入場制限

- ・登録された選手の保護者(各家庭2名まで)その中からチームに帯同する保護者2名を選出する。
- ・帯同する2名の保護者は選手団と共に入場し、荷物の管理や除菌の補助等を行う。
- ・応援で入場する保護者は試合開始10分前に受付し入場することができる。入場受付の際に、シール配布(〇〇中学校A2のようにどのコートの何試合目に応援なのか分かるようにする。)
- ・試合終了後、すぐに会場を出てもらう。
- ・7月25日(日)は、勝ち上がりで1日に2試合となるが、一度必ず退場してもらう。2試合目は別のシールを配布する。また、26日(月)については明らかにチーム数が少なくなっているため、試合後に保護者はチーム指定の座席で待機して構わない。

2 大会参加（受付について）

- ・大会参加者（選手、保護者、顧問、外部コーチ、部活動指導員）の同行者一覧表の中に過去2週間の健康状態をまとめた所定のチェックシート（A4版）を顧問は集約し提出する。
- ・健康状態が記された同行者一覧表は「選手団（部員、スタッフ、帯同保護者）」のものと、「応援保護者（登録選手の保護者各家庭2名まで）」のものを別々に用意する。
- ・「選手団」は会場の外で、顧問が人員の確認、健康状態の確認をした上で全員揃ってから同行者一覧表を受付に提出し入場する。※自チームの試合の前の試合開始時間に入場可となる。
- ・「応援保護者」はチーム代表の方が健康状態を記された同行者一覧表を持参し、人員や健康状態を再度確認した上で受付を済ませ入場となる。※自チームの試合開始10分前に入場可となる。
- ・「健康状態が記された同行者一覧表」を提出しないチームや、チェックが入らない項目がある生徒は基本的には大会への参加自粛を要請する。ただし、医師の診断をもとに当該校の校長が参加を認める場合にはその限りではない。顧問はその際、必ず専門部への連絡を入れること。また、移動中体調を崩し受付時に体調が優れない生徒がいた場合は、入場させず帰宅することになる。
- ・顧問が競技役員や審判等で対応できない場合は、同行する保護者が代表して受付をすることができる。その際、顧問は、事前に受付担当にその旨を伝えること。それ以外は基本的に顧問が受付をする。
- ・基本的に試合をしている選手およびアップ中の選手を除いてマスクを着用します。
- ・受付で、受付担当が入場時間、退場時間を記録するため、帰る際にも受付担当に声がけすること。
- ・受付の際に、「連絡事項」、「会場退出時除菌チェックシート」を配付する。また、チームごとに指定観客席を示した図も配付する。
- ・退場の際、「会場退出時除菌チェックシート」を提出して退場すること。

3 選手、保護者の待機場所

- ・選手、保護者の待機場所は観客席のみとし、指定されたエリアを使用すること。指定エリアは当日受付で提示する。
- ・観客席に着席する際は、前後左右に1席分以上空けて着席すること。
- ・他校との距離は特に配慮してとるようにすること。
- ・選手、保護者は、帰る前に観客席の触れたところをすべて自チームで準備した除菌シートで拭いてから退出すること。
- ・除菌作業する際は、受付で配付される「会場退出時除菌チェックシート」を参照すること。
- ・試合前のアップ場所は指定された4つのエリア（スタンド座席奥の広いスペース2カ所、サブアリーナ2カ所）で時間を守って行うこと。場所と時間については監督会議で提示する。

4 セキスイハイムスーパーアリーナ会場について

- ・コンコース等へブルーシートを引いて学校毎にスペースを確保することを禁止する。
- ・試合を観戦する際は、座席に座って観戦すること。保護者も含めて立ち見は禁止とする。
- ・喫煙所を設けない。
- ・メインアリーナ2階入り口から入場し、2階入口を入った正面に受付を設置する。
- ・サブアリーナ側の施設や1階通路からは入場しないようにすること。

- ・共用部でのマスク着用は、施設利用上必ずしなければならないため、アップ中と試合に出ている選手以外のマスク着用を徹底すること。

5 試合前後および試合中の対応

- ・指定場所以外でアップをすることは構わないが、選手同士の間隔を空けて行うこと。指定場所以外でのアップ内容に関してはストレッチや軽いランニングにとどめ、通行する人の妨げになったり、接触したりすることのないように配慮すること。
- ・メンバー表は、顧問が前の試合のハーフタイムまでにT O席に直接提出すること。生徒による提出を不可とする。
- ・スコアシートにサインをする際は、監督はペンを持参し、自分のペンでサインを行い、T O 生徒のペンを使わない。
- ・試合前に円陣を組んでの声出し等を行わないこと。出場選手での手をつないでの円陣等も不可。
- ・選手は、監督、コーチとのハイタッチも不可となります。
- ・**試合中、ベンチにいる監督、コーチ、控え選手はマスクの着用を徹底すること。**
- ・**試合中、連続する声を出しての応援を行ってはいけない。**
- ・試合後、相手チームへの挨拶はキャプテンのみとする。
- ・試合後、選手は荷物を持ってすぐにベンチを開けること。顧問やコーチは使用したベンチを除菌シートでふく。**(※各チームで消毒グッズを持参して行うこと)**
- ・T O席については、試合終了後、コート主任およびコミッショナーが T O 機材および椅子を除菌シートで消毒する。
- ・試合後、できる限りすぐにマスクを着用すること。
- ・T O生徒は、必ずマスクを着用し、筆記用具を持参すること。
- ・試合後、顧問が選手に話をする場合は、ベンチ消毒やT O準備の時間を考慮した上で広い空間や外で行い、密にならないよう配慮すること。
- ・試合時間については、通常よりも10分長い1時間30分間隔で日程を組んでいる。定刻スタートが基本ではあるが、定刻を過ぎた場合の試合間は15分とする。
- ・試合後に消毒作業行われるが、ベンチの消毒作業中もフロアで次のチームがアップを開始して構わない。ベンチに荷物を置くのは、消毒作業が終わってから置くようにすること。
- ・**試合に勝利したチームはT O終了後、速やかに会場を後にする。また、敗退したチームも次の試合のハーフタイム前には会場から出るように顧問が誘導すること。残りの試合を観戦することや、敗退したチームが翌日の試合を観戦することはできない。**